



この冊子は、全国伝統的建造物保存地区協議会が毎年発行。
 檀原市はこの協議会の会員です。

伝統的建造物群保存地区保存審議会 開催
 (今井町並保存整備事務所より)

7月30日華蕙において「伝統的建造物群保存地区保存審議会」が開催されました。そこで、今井町並保存整備事務所職員の方々に「伝統的建造物群保存地区保存審議会」についてお聞きしましたので、ご紹介いたします。



vol. 255

発行	今井町並み保存会
発行日	令和3年9月1日
電話	0744-22-1128
http://www3.kcn.ne.jp/imaicho/	
e-mail imaicho@m3.kcn.ne.jp	
◇ご意見・ご感想は 今井景観支援センターまで	

全国には今井町をはじめ、城下町や宿場町、門前町など歴史的な集落や町並みの保存が図られている伝統的建造物群保存地区(以下、「伝建地区」という。)が各地に数多く存在します。昭和五十年の文化財保護法の改正により、伝建地区の制度が発足して以降、現在では全国に123地区を数え、各自治体では地区の個性を活かした持続可能なまちづくりを目指し整備が進められています。

各市町村では、そのような伝建地区の保存に関する内容(保存整備の方向性に関することや、建築物等の助成措置に関すること)等について、公平かつ専門的知見を踏まえ、保存地区の重要事項を決定する目的で当審議会が設置されています。簡単にご説明すると、住民側と行政側の質問や意見等に対し、審議会として回答を得る場が「伝統的建造物群保存地区保存審議会(以下、「伝建審」という。)」になります。

伝建審は、伝統的建造物等の特性や歴史的景観に精通した学識経験者、地域代表者、関係行政機関の職員から構成されます。町内からは、米川憲久氏(自治会長)、若林稔氏(町並保存会 会長)、今井慶子氏(民生児童委員代表)、森本育寛氏(郷土史家)の4人が参加しています。

審議内容としては、伝統的建造物(特定物件)の特定及び解除を議題として審議

するほか、過年度までの実施事業の経過報告及び次年度の事業計画等を報告しています。

例えば、以前の伝建審においては部材状況や構造手法等から建築年代が非常に古く、文献上においてもその歴史的価値が高いと認められる建物について、伝統的建造物(特定物件)としての追加が適切か否かを諮問し、委員のご承認を得て、新たに1件が伝統的建造物として特定されました。また伝建審では保存地区決定時に定める保存活用計画(市町村が伝建地区の保存と活用のために行う措置を具体的に定めたもの)の見直しが必要になった場合には、それを審議することもあるため、伝建審は保存地区の整備方針の決定を担う大きな存在であるといっても過言ではありません。

このように、伝建地区の選定後も地区の保存・活用に関し、地域代表者等の委員各位からの幅広いご意見を踏まえたうえで、適切な保存整備に努めています。

以上が整備事務所の方からのご紹介となります。

なかなか身近でない今回のテーマですが、そういった審議の場が設けられているからこそ、全国的にも誇れる今井町の町並みが次世代へと維持・継承されているのではないのでしょうか。

第14回 今井灯火会について

新型コロナウイルス感染症がなかなか収まらない中、8月7日(土)今年も規模を縮小して、春日神社境内で開催しました。今井町自治会・春日講などの協力のもと、ろうそくを入れた町内名を書いた行灯や灯火器具で今井町の地図を境内に表現しました。

応援に来てくれた地域支援機構人材養成塾の生徒さんたちも、町の人たちに地形を教えていただきながら楽しそうに灯を並べてくれました。参加者の中には、自分の町内にろうそくを点される方もいらっしやうて、町名に対する愛情を感じました。

また、境内に設置した七夕飾りには、ペットの犬の病気が早く治りましようといいう子どもさんの短冊も付けられていました。お願いが早くかなえられると良いですね。



ふるさと納税 返礼品に今井町の産品

檀原市では「誇れる郷土・かしはらにあなたの応援を！」をキャッチフレーズに、ふるさと納税の制度の充実を図っています。

檀原市は、ふるさと納税の寄付金を活用する事業分野を設定してふるさと納税する方に1つの事業分野を指定していただいて、その寄付金を有効活用しています。そして見返りとして、檀原市以外に在住している方々には返礼品リストの中からお好みのものを選んでいただいてそれをお礼という形で送付しています。一部自治体では、ふるさと納税の豪華な返礼品や過大な返礼品が話題になってマスコミに取り上げられることもありましたが、

今回は檀原市の返礼品リストの中に今井町に関係あるお店を紹介しています。

①ウネビラーシュ(株)	ベーグル等	15品目
②河合酒造(株)	清酒「出世男」他	7品目
③珈琲の富田屋	自家焙煎コーヒー	3品目
④十返舎	漬物	3品目
⑤恒岡醤油醸造本店	醤油セット	1品目
⑥農家のオーベルジュこもれび	宿泊・お食事券	2品目
⑦Tama	お食事券	4品目
⑧一社 日本の寺子屋	写真集等	1品目
⑨(株)南都衛材製作所	シルク腹巻等	4品目
⑩N.N.Trading Japan	アクセサリー等	15品目
⑪阿伽陀屋 若林亭	漆の美一駒繫ぎ	1品目

編集後記

2年続きのコロナ禍はいつまで蔓延していくのか。日本中の人たちが、共通してコロナ禍に泣いています。自然界にあっても、地震、水害が全国規模で蔓延しています。本当に暗い話ばかりです。

幸い、今のところ今井町では住民の皆さんの自浄精神で、比較的穏やかに過ごせていることは嬉しいことです。それでも、制約の中で過ごす大変さに、皆さんご苦労様ですとしかいうことがありません。

恒例であれば9月は奈良大学生の落語を聞かせていただき、秋祭りの頃は「町角アート」や、奈良医科大学との共催で、学園祭に出向き、代わりに今井町で「お寺で着物でジャズと医学」で町を賑わせてくれている季節がやって来ます。奈良大学落語研究会・奈良医科大学学生祭の担当者とは「規模が小さくとも何か催しをやりたいな」と連絡を取り合っています。最近のコロナの猛威ではそれすら拒否せざるを得ないことにならないのでしょうか。

明るいニュースを今井町に運び込みたいのですが、今は堪えるしかないのでしょうか。
「コロナに負けないでWithコロナの道」を探っていきたいです。